

# 障害者の介護保険への移行支援 について学ぼう ～研修会報告～

この研修会は、おもに、移行支援に係る基本的な制度・対応ポイントについて学ぶこと、実際の事例を通して具体的に支援の流れがイメージできること、当事者の思いについて理解を深めることを目的として開催しました。オンラインにて50名の方がご参加くださいました。

**開催日時：2022年1月21日（金）14:00～15:45**

## **研修1 移行に係る制度や対応ポイントを学ぼう**

姫路市健康福祉局 障害福祉課 支援相談担当 **濱野 祐太郎 氏**

## **研修2 事例を通して支援の実際を知ろう**

姫路市灘地域包括支援センター

管理者 **赤松 充代 氏**

社会福祉士 **椎木 広代 氏**



## **研修3 当事者からのメッセージ**

姫路市地域自立支援協議会 会長 **河原 正明 氏**

### **\* 参加者の皆さまからの声を紹介します\* (アンケートより一部抜粋)**

- 移行に向けた動きが想像できるようになり理解できた。各機関に相談出来ることがわかり安心した。
- 介護保険では利用できない必要なサービスを相談支援専門員と連携していく事により移行支援対応ができるという事がわかった。障害者総合支援法を学ぶ必要があると感じた。
- 制度や事例だけでなく、当事者の方の思いを伺うことができ、とても参考になった。
- 制度に乗った人生ではなく、より柔軟に、より幅広く、どちらのサービスもうまく利用できるようにプランを立てたいと思う。
- 介護と障害の違いは理解しているつもりだが、プランを検討するうえで障害福祉サービスの方が充実していると感じる時がある。移行の際は不安もあると思うので、しっかりアセスメントしてコミュニケーションをとって行きたいと思う。
- 介護保険優先の原則は、あくまでも「優先」として、当事者本意の支援をと心では思うが、実情は「当然」として移行が進み、本当に満足のかプランを提案できているか疑問に思う。
- 制度に関する研修の機会はあるが、具体的事例を聞く機会はあまりなく、また、研修によって提供事例、提供者が違うためとても参考になる。
- もっと色々なパターンの事例を知りたい。